

衛生陶器を設置する際の壁補強・壁仕上げについて(乾式工法)補強材が合板補強の場合

樹脂
シール材
／
参考資料

1. 壁補強と下地について

洗面器などを壁に取り付ける際は、バックハンガー部やビス固定部の木ねじが抜けないように、壁裏に十分な補強をしてください。補強が不十分な場合は洗面器などに荷重がかかった際に、器具ががたついたり落下する場合がありますため、下表を目安にJAS規格合板で補強してください。ただし補強した合板（補強板）はねじの抜け力を確保するためのものであり、壁自体の強度を確保するためのものではないためご注意ください。

なお、ハイドロセラ・ウォールの施工については、217～221ページを参照ください。

2. 壁仕上げについて

上記施工の場合の壁仕上げは、下地の上に仕上げを行ってください。器具（洗面器など）を使用する上で壁に水がかかるおそれのある場合は耐水性・防水性能のある仕上げ材をご使用ください。また、合わせて取付けねじやビスを伝って水の浸水が想定される場合はシリコン系シール材（メジシール）を塗布するなどの処置を行ってください。

分類	品番	補強部位	品番	下地の厚み[mm]	※1 補強板の厚み[mm]
流し	SK6, SK7	バックハンガー	T9R	※2 12以上	12以上
		ブラケット	T8WF380R		
	SK22A SK322	バックハンガー	T9R		
		壁フランジ	T37PGEP, T37PE		
	SK73R	ビス	TA1S		
	SK500	バックハンガー	TL220D		
	SK507	バックハンガー	T9R		
SK510・D	バックハンガー	TL220D			
手洗器	L30D・DM	バックハンガー	TL220D		24以上
		バックハンガー	T9R		
	L650D	バックハンガー	TL250-1D		
	L870・A・AM・M	バックハンガー	T9N		
	L90DR	ビス	TA3N		
	L50D	ブラケット	UGX194A		
	LS850	バックハンガー	T9R		
洗面器	L103A・CF・CFG・D・DMP L270C・CM・D・DM	バックハンガー	TL220D	24以上	
					LS704C・CM LS721C・CM LS722C・CM
	LS125D・DM, LS135D・DM	バックハンガー	TL125D	12以上	
	L210C・CM・D・DM L250A・AM・C・CF・CM・D・DM	バックハンガー	TL250D	24以上	
					L530・L501・L502・L531・L532
	L505・L582S・CS・CMS	ブラケット	TL516GR		
	L710C・CM	バックハンガー	T9R		
	MVRS45P・S	ブラケット	製品に同梱		
	MLRA50A・B	固定金具一式	MX60014		
	MLRB32AAL・ABL・BAL・BBL MLRB32AAR・ABR・BAR・BBR	固定金具一式	MX60013		

資料

衛生陶器を設置する際の
壁補強(乾式工法)

分類	品番	補強部位	品番	下地の厚み[mm]	※1 補強板の厚み[mm]
洗髪器	S305DNU	バックハンガー	TK305H	※2 12以上	※1 24以上
小便器	UFS800CEZ, UFS860CSZ・CESZ・CKSZ	バックハンガー	製品に同梱		
		壁フランジ	T64CW (セット品番に含む)		
	UFS900R・WR・JS・JCS	バックハンガー	製品に同梱		
		壁フランジ	HP900 (セット品番に含む)		
	UFS900MR・WMR・JMS・JCMS	バックハンガー	製品に同梱		
		壁フランジ	HP900M (セット品番に含む)		
	UFS900M1R・WM1R・JM1S・JCM1S	バックハンガー	製品に同梱		
		壁フランジ	HP901M (セット品番に含む)		
	UFH557	バックハンガー	T9RA		
		壁フランジ	HP500 (セット品番に含む)		
	UFH557Z	バックハンガー	T9RA		
		壁フランジ	HP500E (セット品番に含む)		
	UFH500, UFH570	バックハンガー	T9R		
壁フランジ		HP500 (セット品番に含む)			
UFH500Z, UFH570Z	バックハンガー	T9R			
	壁フランジ	HP500E (セット品番に含む)			
	UFS910・W・JS, UFH507CR・CZ・CHR・CHZ, UFH508CR・CZ・CHR・CHZ・MR・MZ	固定片	製品に同梱		
タンク	S570B, S570BKS, S570BF, S670BU・BFU S31, S300BK	ビス	金具セット品番に同梱		
大便器	C743PVN	壁フランジ	HP551VPR, HP551VUR TW450W	※2 12以上	

使用するビスのねじ部が補強板に充分かかることをご確認ください。

また、長すぎるビスを使用すると、壁裏の配管を傷つけるおそれがあります。配管の取り回しなど十分にご注意ください。

※1 JAS規格合板をご使用ください。

※2 JAS規格合板12mm以上か同等以上の圧縮強度を有する材料(硬質石膏ボード12.5mm等)を使用してください。

石こうボードは壁自体の強度が弱いため、直接洗面器などを取り付けないでください。

洗面器などを取り付ける場合は、洗面器などを取り付ける壁を合板に取り替えてください。

石こうボードに直接洗面器などを取り付けると、洗面器などに荷重がかかった際にボードが破壊し、洗面器などが外れるおそれがあります。

※3 さまざまな身体状況の方が使用され、より強度が求められる現場においては1008ページ記載のC型チャンネルでの補強をおすすめします。

《試算条件》

- リム先端に1KNの荷重をかけた場合を想定。
詳細は476ページを参照ください。

資料

衛生陶器を設置する際の
壁補強(乾式工法)